

施政方針演述要旨

令和7年大槌町議会3月定例会において、平野公三町長がまちづくりの指針となる本年度の施政方針を述べました。その要旨をお伝えします。

令和7年度重点施策推進方針

地域社会や経済に大きく影響する人口減少に歯止めをかけるため、社会経済情勢や町の行政評価結果などを踏まえた「令和7年度大槌町重点施策推進方針」を令和6年11月に策定しました。

「人口減少に対応した地方創生への取組み」、「地場産業拡充への取組み」、「防災・減災への取組み」、「子ども子育て支援への取組み」の4項目を重点施策に設定し、令和7年度予算編成および実施計画の策定を行いました。

当初予算編成

令和7年度予算は、持続可能な財政運営の確立を念頭に置いた予算編

成としております。

令和7年度一般会計当初予算は、総額103億8千万円を計上し、対前年度比で2・7%の増となっております。特別会計当初予算は、対前年度比で、特別会計全体で0・25%減の30億493万7千円を計上しております。

また、国の重点支援地方交付金を活用した事業につきましては、令和7年度一般会計補正予算第1号で予算措置し、物価高騰の影響を受けている町民や事業者を支援してまいります。

財源の確保と行政コストの削減に努めながら、重要な施策の選択肢を狭めることのないよう、効率的かつ効果的な財政運営を徹底してまいります。

組織体制

産業振興課、協働地域づくり推進課および文化活動交流施設における事務分掌を見直し、地場産業拡充の取り組みに一層注力するほか、より地域と一体となった協働による地域づくりや効果的かつ持続的な震災伝承の推進を図ります。

また、職員数につきましては、正職員を3人増員した145人で、執行体制の強化を図るとともに、新たに県の人事交流制度を活用した中堅若手職員の育成強化に取り組んでまいります。

地場産業拡大・観光物産拡大に向けて

地場産業拡大および観光物産戦略の主要施策である「海業の振興」につきましては、なりわいとにぎわいの創出による所得と魅力の向上のため、漁業者を中心とする多様な主体が、漁港を中心に資源の活用と共有、保全などを進めることができよう、これまでの実証事業から、自主財源などを活用した継続的な活動へとつなげることが必要であります。

「サーモン養殖における稚魚生産機能の充実」、「漁業者主体によるウニ畜養の実現」、「藻場保全エリアの拡大」、「ブルーフラッグ認証の取得」、「ふるさと科や県立大槌高等学校地域探究科のフィールドワーク支援」などに取り組む事業者、関係機関に対し、具体的な目標設定を促しながら、その取り組みを支援してまいります。

移住・定住の推進

移住・定住の推進につきましては、従来の移住者のための支援施策のみでなく、今まさに大槌で暮らす人の視点に立った支援体制の構築も重要であります。

移住・定住推進に向け、役場内で連携し、今一度、地域住民や関係機関が快適に暮らしていくために取り組めることは何かを考え、移住者や定住者から「選ばれるまち」となるよう努めてまいります。

また、移住者、定住者の住環境の整備として活用が期待できる空き地・空き家情報バンクにつきましては、令和7年1月末現在の登録件数は、

安全・快適

災害に強いまちづくりの推進 ▶ 防災行政無線更新工事や大ケ口地区避難施設整備の着実な推進 ▶ 金沢地区消防屯所整備に向けた取り組み

自然環境の保全・環境衛生の向上 ▶ 温暖化ガスの削減に向けた取り組み ▶ 最終処分場（浸出水処理施設）の設備更新

快適な住環境の実現 ▶ 町道高森団地線の道路改良

新たな交通ネットワーク ▶ 乗合タクシーの本格運行開始 ▶ 三陸鉄道の経営安定化と利用促進に向けた支援

将来を見据えた持続可能なまちづくり

協働による地域・まちづくりの推進 ▶ 集落支援員の配置による地域活動の活性化および持続可能な地域づくり

移住・定住推進 ▶ 地域住民や関係機関が快適に暮らしていくための取り組み ▶ 「空き地・空き家情報バンク」の制度周知と利活用の支援 ▶ 地域おこし協力隊受け入れコンテンツのPR強化

行政手続きのデジタル化 ▶ 自治体DXの推進 ▶ 業務の効率化と町民の利便性向上

人材育成の推進 ▶ 職員の能力を発揮できる環境づくり

が、空き家5件、空き地41件で、うち空き家2件について、売買契約が成立しております。引き続き、制度の周知や利活用の支援を行い、地域資源の有効活用と併せた移住・定住施策を推進してまいります。

むすびに

令和6年度より、5年間のまちづくりの骨格となる「第9次大槌町総合計画 後期基本計画」が始動いたしました。

5つの基本方針を計画的かつ着実に実行するためには、町民の皆さま、各種団体や関係者と現場で向き合い、対話しながら、現状をしっかりと受け止め、きめ細かに対応することが肝要であります。

町民ならびに町議会の皆さまにおかれましては、誰もが「この町に住みたい、住み続けたい」と思える「魅力的」で「安全安心」なまちの実現のため、ふるさと大槌町への「愛着と誇り」を持ち、「次世代に継ぐ明るいまちづくり」に共に取り組んでまいります。

産業・観光

地場産業拡大・観光物産拡大 ▶ 「海業の振興」の取り組み主体に対する側面的支援 ▶ 「おおつち百年之業協同組合」による安定的な就労環境の確保

健康・福祉

子育て環境の充実 ▶ 妊産婦交通費支援の拡充 ▶ 「こども誰でも通園制度」の準備（令和8年度実施予定）

健康づくりの推進 ▶ 各種がん検診の自己負担金の無料化および検診受診率向上の取り組み

介護人材の確保 ▶ 介護従事者の資格取得に係る費用の助成

障がい福祉の推進 ▶ 民設民営による障がい者グループホーム整備の促進

医療の充実 ▶ 釜石市との共同による「小児科医・産婦人科医オンライン相談事業」の実施

教育・文化

生涯を通してつながる学びの推進 ▶ 「けやき共育」による不登校の児童・生徒に対する学習支援や相談対応

地域へと広がる魅力的な学びの場づくり ▶ 多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材の育成（大槌高校魅力化推進）

町民の学習活動の推進 ▶ （仮称）みんなのひろばの着工（令和8年度完成予定）

震災伝承 ▶ 大槌町鎮魂の森「あえーる」の完成式典および関連行事の開催